

地域の子どもたちに
夢と元気を



SOMPO BALL GAME FESTA



「SOMPOボールゲームフェスタ」は、
子どもたちの健康と成長を応援するスポーツイベントです。
本イベントを通じ、地域自治体の皆様とともに、
より多くの子どもたちに夢と元気を届けてまいります。

同封の募集要項とあわせてご覧いただき、奮ってご応募ください。

SOMPO BALL GAME FESTA

運動・あそび、ボールゲームを通じ、あそび・スポーツの楽しさ・魅力を1日で体験できるイベント

■ プログラム概要

未就学児から小学生を対象に、当機構に加盟しているリーグに所属する、又は所属していたトップアスリートがボールを使う運動の楽しさや技術を指導します。参加者同士の触れ合いを通して、体を動かす楽しさを体験しながら、基本的な技術の習得や技術力をアップさせる機会を提供し、次世代の子どもたちのスポーツライフを支援するイベントです。

午前に未就学児から小学校低学年を対象とした「あそびバ!」、午後に小学校中高学年を対象とした「キッズチャレンジ」を実施※。1日で運動・あそび、ボールゲームを体験できるイベントが開催できます。

2016年から全国で開催をしており、これまで延べ約300を超える会場で開催しております。これまでの開催情報はホームページからご確認いただけます。

※「キッズチャレンジ」は低学年も参加可

「SOMPOボールゲームフェスタ」ホームページ
<http://japantopleague.jp/static/special/bgf/>



■ 開催のメリット

本事業は、地域と連携した次世代育成事業であり、マルチスポーツが提唱される中、多種目での開催により、ボールゲームの価値および日本トップリーグ連携機構加盟リーグや地域クラブとの融合など、貴団体のスポーツ振興に取り組みに大いに貢献できると考えております。

- 1 次世代育成への貢献を、**地域社会にアピール**できる。
次世代育成観点からの地域住民の評価獲得と、「この街でよかった」との安心感と誇りの醸成に。
- 2 スポーツを応援する行政としての**社会的認知の向上**に。
- 3 ボールゲームフェスタのもつ複合イメージから、**より良い教育行政の発信**が可能。
- 4 学校体育現場の課題である、**より専門的なボールゲーム指導を学ぶ機会**となり得る。
- 5 一競技に偏る日本型スポーツ行動から、**欧米型のマルチスポーツ化の機会**となり得る。

■ アンバサダー・スペシャルゲストの紹介(2024年度実施例)

アンバサダーもしくはスペシャルゲストのうちの1人が、各会場で子どもたちと一緒にプログラムに参加し、多種競技の体験の素晴らしさを直接伝えます。

アンバサダー



大野均氏
ラグビー



高木菜那氏
スピードスケート



岩淵真奈氏
サッカー

スペシャルゲスト



加藤優氏
野球



塚原直貴氏
陸上短距離



坪井保菜美氏
新体操

【参加の様子】



※記載のゲストは一例です

■ 参加者の声

1年に1回ではなく、
もっと頻繁に開催して欲しい

楽しかった！
ラグビーボール買います

短時間でも日頃から
子どもと体を動かす遊びをしよう！と思った

段階を踏んで教えていくという考え方の重要性を認識した
やらせれば意外と何でもすぐ出来る事に改めて気がついた

スキンシップをとりながら運動すると
こんなに子どもが笑顔になれるんだと、
とても幸せな気持ちに親子でなれた

指示者と指導者の違いを学び、
指示ではなく**指導**ということ意識していきたいと思った



午前開催



幼稚園年中～
小学校低学年

親子で参加

運動・あそびの
体験

子どもの発達・発育学の第一人者である中村和彦氏(山梨大学学長)と開発したプログラム。親子でボールを使ったメニューを中心とした様々な“運動・あそび”の中で、手足を使い基礎的な運動能力アップを図ります。大きさの違うボールやラグビーボールのように形の違うボールを使い、子どもの調整力を自然と身につけられるようにします。近年、子供の体力・運動能力低下が叫ばれており、「基本的な動きの未習得」がその一因とされています。身体運動の発達に応じた思考力・判断力の発達や、コミュニケーション力の発達に有効な運動プログラムです。また親子のコミュニケーションが少なくなってきた現代において、すべてのメニューが親子で実践する内容となるため、親子一緒に楽しみながら活動できます。

また、本プログラムは過去開催地の自治体の方並びに参加者からも高評価を頂いており、2019年度より「あそびバ!」単独開催も行っております。



堀内亮輔氏
(日本女子体育大学)

岡村要氏
(元ラグビー選手)

岩屋睦子氏
(元バスケ選手・日本代表)

篠原俊明氏
(共栄大学教育学部・専任講師)



池田麻美氏
(元バスケ選手・日本代表)

真砂野裕氏
(東京都小学校教諭)

佐田樹理氏
(元バレー選手・日本代表)

向井陽氏
(元ラグビー選手)

JTLプレイリーダーの資格を持った**教育現場従事者**や**アスリート**が講師役として参加します。複数種目のトップアスリートが自身の経験、各競技の知識に加え、子どもへの触れ合いのコツ、子どもの現状、子どもを楽しませるノウハウなどを体得しています。各会場に**2名**が参加し、子どもたちを運動・あそびにのめり込ませます。

午後開催



小学校中高学年
※低学年も可(要相談)

複数種目の体験

当機構に加盟している9競技12リーグの中から、開催地の要望を基に種目を決定。各種目2名ずつの講師は元日本代表選手や元トップリーグ選手などが務めます。単一種目をする事が多くなる中、一度に4種目×40分(※)を体験し、普段と違う動作をすることで子どもの運動能力の向上も図ることができます。屋内・屋外会場で、1種目15名～30名(施設の規模によります)を1グループとし、各種目をローテーションで体験してもらいます。

(※)2025年度より、会場規模や過去開催地からのご要望もあった競技のレベルアップのためとして、2種目以上での開催が可能となりました。ただし、原則としては4種目での開催となりますので、種目数の変更をご希望の場合は予めご相談ください。なお種目数の変更に伴い、1種目の実施時間を変更することも可能とさせていただきます。



長部沙梨氏
(元バスケ選手)

相根澄氏
(元フットサル選手・日本代表)

田中真紀子氏
(元ソフト選手)

前田誠一氏
(元ハンド選手・日本代表)



後藤崇志氏
(元ラグビー選手)

笹岡李佳氏
(元ホッケー選手・日本代表)

富士田裕大氏
(元バレー選手・日本代表)

小林弥生氏
(元サッカー選手・日本代表)

※記載の講師は一例です

当機構に加盟するリーグに所属、又所属していた、各リーグ・日本代表で活躍したアスリートや日頃から普及活動を行うコーチが講師として各種目**2名**ずつ参加し、その競技の魅力を伝えます。



■ 1日のスケジュール
(参考)

参加者へTシャツをプレゼント!



親子で“運動・あそび”

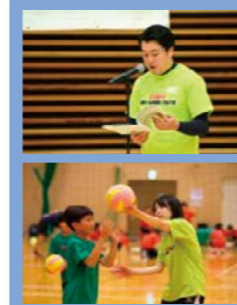


キッズチャレンジ

子どもたちは4種目×40分(※)をローテーションで体験します



(※)2025年度より会場規模等の理由により種目数の変更および実施時間の変更は相談可



自治体の皆様には 司会や補助員としてご協力いただいております



受付でTシャツ配布物を受け取り、
名前シールを書いたら会場内で自由に遊びます

8:30 9:00 9:30 11:30 12:30 13:00 13:30 16:30

受付

開講式

あそびバ!

閉講式

お昼

受付

開講式

キッズチャレンジ

閉講式

8:30 9:00 9:30 11:30 12:30 13:00 13:30 16:30



主催挨拶・講師紹介を行います



トップスポンサーのSOMPOホールディングス による防災意識を高めるワークショップの実施



AM同様、開講式を行います



アンバサダーやスペシャルゲストは
終日子どもたちと一緒に体験します!



「あそびバ!」プログラム終了後、一人一人に修了証を授与
ハイタッチで参加者をお見送り



地域スポンサーとして地元企業などが参加し、ブース出展や写真撮影会も行います



「キッズチャレンジ」プログラム終了後、
一人一人に修了証を授与し、ハイタッチで参加者をお見送り



JAPAN TOP LEAGUE